



新井田 昭 男 議員

いっぱん質問

問 観光パンフレットを全戸に配付を

答 新年度に作成費を予算計上し配付する 町長

質問 北海道新幹線事業着手からはや11年目を迎え、昨年12月からは新幹線H5系車両による試験走行が開始され、新幹線開業まで残すところわずか1年となりました。

5月には新幹線駅舎8月には観光交流センターの完成など、駅前周辺の整備関連事業は概ね順調に推移していると思われま

しかし、「北の大地の始発駅」として、町全体の観光誘致対策の整備状況を見れば、未だ皆無と思わざるを得ません。

住民の立場に立つて次の3点についてお聞きします。

①来町いただいた観光客に町民自らが各名所等の案内ができるよう、観光パンフレットを全戸へ配付したり、コンビニ等へ設置することが必要不可欠と考えます。また、我が町の観



新幹線ビュースポット建設予定地から見える風景
(建川地区建川トンネル上部)

光に係わる看板の設置について、適材適所に設置することも必要だと考えますが見解を伺います。

②行政では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みで地方創生先行型交付金を活用した薬師山芝桜植栽事業を掲げております。この事業の中で、展望台の新設は考えられない

いででしょうか。

③町政執行方針にある観光の中で従来のイベントへの継続支援策に変動がありますか。また、町内観光スポットとして、みそぎ浜や新幹線ビュースポットの整備についてお聞かせください。

大森町長 ①新年度では、観光パンフレットを作成し、町内の全戸

に配付します。看板やサイン類については、道路や施設整備に併せて方向指示版等を適所に配置します。

②現行の展望台は、整備後33年が経過していますが、今後についても随時点検を行い、気持ちよく利用していただけるように施設の維持管理を行ってまいります。

③各種イベントは、町の全ての部局を含む実行委員会で事業展開を行っています。みそぎ浜の整備については、ベンチやウッドデッキ、パノラマ写真、カラー塗装等の実施設計を進めていきます。また、新幹線ビュースポットの整備については、建川地区の建川トンネルの上部が最適地として判断しており、駐車スペースを配備し青森・函館方の両方面を見渡せる展望台を建設します。